



RI 第 2 6 1 0 地区

井波庄川ロータリークラブ会報

2010-2011 年度 No. 2 8

事務局 〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4 福光会館 3F

ふくみつ光房内 TEL 0763-53-1333 F A X 0763-53-1334、(レイ・クリンギンスミス会長)

INASHORC@athena.ocn.ne.jp

2010-2011 年度 会長 山本武夫、幹事 助田幸雄

2010-2011 年度 RI テーマ



「地球を育み、
大陸をつなぐ」

例 会 記 録(となみ総合支援学校訪問)

第 1 5 5 9 回施設訪問

平成 2 3 年 2 月 9 日(水)

県立となみ総合支援学校

1. 司会：廣安敏美教頭先生



2. 訪問の御礼の言葉：会長「今日は、学校訪問をさせて頂き有難うございます。ロータリークラブは、職業奉仕活動の一環で、14 歳の挑戦の受け入れ企業協力などの事業活動をしておりますが、このとなみ総合支援学校では、高等部から作業学習を実施し、卒業後の就労支援に力を入れておられます。井波庄川ロータリー

クラブでは、少しでもお役にたてることがないか、この学校訪問で、勉強させていただきます。」



3. 学校長挨拶：長沼克也先生「今日は、ようこそ当校へいらっしゃいました。本校は、当初知的障害を持つ子供の施設として、昭和 57 年に開校し、数年前より肢体不自由児も登校しています。平成 19 年に学校教育基本法が改正され、養護学校という名称が、昨年 4 月より、特別支援学校となりました。本校は、複数の障害(知的障害と肢体不自由)の受け入れ施設のため、総合支援学校という名称になりました。将来の自立に向けて、それぞれの能力に応じた教育をしていますが、まだまだ、障害児に対する誤解や卒業生を受け入れる企業が多くないなど、地域において、ロータリークラブの皆様のご理解・ご支援を頂ければ幸いです。」

4. 概況説明・進路関係：廣安教頭先生…(パンフレット「学校要覧・学校案内」により、説明をして頂く。)現在、小学部 24 名、中学部 28 名、高等部 50 名、計 102 名が通学しています。ほとんどが砺波地区の子供

で、12名は、分校である、となみ東支援学校から高等部に通っている生徒は、高岡市や射水市・富山市出身。4台のスクールバスで、送迎しています。非常勤を含めると教職員は90名で、手厚い教育をしています。昨年度実績で、高等部卒業生の進路は、一般企業へ6名、福祉作業所へ10名、福祉施設へ2名、進学(介護の養成学校等)1名、在宅(ディケア他)4名です。今年度も一般企業へ3名、福祉施設へ2名、残りは福祉作業所へ進路が内定しています。



5. 日程説明：廣安教頭先生「作業学習を参観していただきます。お手元の資料の順に回りたいと思います」



6. 高等部作業学習参観：廣安教頭先生の案内：①窯業：箸置き・皿の制作、②紙工：封筒・コースターの制作、③園芸・食品加工、食物：お菓子作り(マドレーヌ、パウンドケーキ、チーズケーキ作り)、④服飾工芸：花ふきん・台ふきんの制作、⑤クリーニング：ワイシャツ、エプロン、ハンカチ等の洗濯・アイロンかけ等、⑥清掃：トイレ清掃、⑥基礎Ⅰ：空き缶・メモ帳・割り箸の袋詰め、⑦基礎Ⅱ：そうめん箱の組み立て。
7. 生徒作品販売活動：コップやコーヒーカップ、箸置き、皿など(窯業班の作品)や、花ふきんや台ふきん(服飾工芸班)の作品を、井波庄川ロータリークラブ会員が購入させていただく。



8. 会長の御礼：本日は、大変貴重な時間を頂き、作業学習の参観をさせてもらい、有難うございました。井波庄川ロータリークラブとして、今後どのような形でご支援できるか、また考えていきたいと思います。それから、生徒さんの作品も少しばかりですが、購入させて頂きました。地元の南砺 RC などへも紹介したいと思います。
9. 長沼校長先生の閉会のご挨拶：先ほどのご質問の県内の障害児数は、特別支援学校で 1185 名、小中学校の特別支援学級で 969 名おります。また、県内には 13 の特別支援学校があり、生徒が教育を受けております。さて、本日は、井波庄川ロータリークラブの皆様には、本校を参観して頂き、また生徒の作品をたくさんご購入して頂き、感謝申し上げます。これを契機に、ますます地域において、ご支援を頂ければ幸いです。よろしくお願い致します。